



早いもので、今年も残すところ2か月となりました。秋も随分深まって紅葉の好季節となり紅葉狩りも楽しみです。

さて、年賀状の用意をそろそろと考えておられる方も多いのではないのでしょうか。12月に入ってあわてて用意するより、余裕をもって準備したいものです。

手順としては、まず住所録の追加・訂正・削除から始め、年賀状の写真やイラストを用意しましょう。教室でも毎年本文用のイラスト等を用意しますので、それをご覧になって作られても良いでしょう。

| 2016 | | <<11月>> | | | | | | |
|------|----|---------|----|----|----|----|---|--|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | |
| 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | |

11月の教室開催日は右のとおりですので、よろしくお願いします。



おさえておきたい 年賀状の基本ルール

ちょっと難しいですが、年賀状には基本ルールがあります。

一年に一度の事なので、忘れてしまいがちですが、毎年確認して恥ずかしくない年賀状を書きましょう。

年に一度のご挨拶は、相手を思いやる気持ちを伝えたいもの。送る側の自己満足だけにならないよう、受け取った相手に喜ばれる年賀状づくりを心がけましょう。

その為にも自分の近況は後回しにしましょう。年賀状には相手のことを思いやる言葉を8割、その上で自分の近況を書き添えます。自分の話は2割程度に抑えるのがマナーです。

また、子どもや家族などの写真入りの年賀状は、上司や取引先などには出さない方が無難。ただし、家族ぐるみでお付き合いしている、出産祝いをいただいた、などの場合は、写真入りでも喜ばれることがあります。

家族の写真
POINT!

恭賀新年

今年のご目標は営業成績のアップです。頑張ります。昨年は大変お世話になりました。本年も変わらぬお付き合いのほど、宜しくお願い申し上げます。

平成二十五年 元旦

① 自分の話題を先に書くのはNG!

「新年」と「あけまして」は、同じ意味

「新年」と「あけまして」は、同じ意味なので同時に使うのはNGです。

使う場合は「新年おめでとうございます」と書きましょう。

「一月一日」と「元旦」を同時に使うのはNG

「元旦」は「新年最初の朝」という意味なので、使うなら「平成X年 元旦」「二〇XX年 元旦」と書きましょう。

新年 あけまして

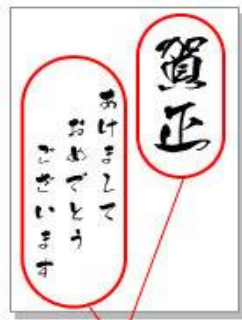
皆様おそろいで新年をお迎えのことと存じ心からお喜びを申し上げます。旧年中は、ご交誼を賜りました。ありがとうございます。

本年も昨年と同様、よろしくお付き合い申し上げます。

平成二十五年 一月一日 元旦

② 「1月1日」と「元旦」を同時に使うのはNG!

① 「新年」と「あけまして」を同時に使うのはNG!



同じことを言っていることになるので、注意!



「賀正」と「あけまして」も意味が同じなので重ねて使わない。
『賀』には喜ぶ・祝うという意味があります。
『謹賀新年』は「謹んで新年を祝う」ということです。『賀正』は「正月を祝う」ということです。

縁起のよい年賀状作りを!!

年賀状は縁起の悪い表現は避けましょう。

「去年」も「昨年」や「旧年」という表現に替えましょう。

修正ペンはNG!!

書き損じてしまったら、修正ペンでごまかすのではなく、初めから書き直しましょう。お年玉付き年賀ハガキを書き損じた場合は、郵便局に持参すれば1枚5円で新しいハガキに交換できます。

赤のインクもNG!!

目上の人や取引先などに出す年賀状は、黒インクのペンや、毛筆、筆ペンで書きましょう。万年筆の、黒・濃紺・青はOK。宛名も同様です。

空白もNG!!

最近よくあるプリントされている年賀状を使う場合でも、印刷された味気ない定型文だけではなく「今年も頑張ります!」など、たったひと言でも充分ですので、手書きでコメント書くようにしましょう。

出典 (<http://matome.naver.jp/odai/2135279195780014401>)

来年から年賀状を辞退したい場合の年賀状の文例 (参考)

謹賀新年

〇〇様におかれましてはお健やかに新春をお迎えのことと存じます

さて 私も高齢になり 手足の衰えを感じるようになりました

毎年の年賀状も今年限りで失礼させていただきたいと思えます

勝手ではございますが 今後も変わらぬおつきあいのほどお願い申し上げます

平成二十九年 元旦

あけましておめでとうございます

毎年いただいております年始のご挨拶ですが

小生 寄る年波を感じるに至り 誠に勝手ながら

今年をもちまして 新年のご挨拶状を最後とさせていただきます

今後も変わらぬおつきあいをお願い申し上げますとともに

皆様のご健康とご繁栄を心からお祈りいたします

平成二十九年 元旦

あけましておめでとうございます

旧年中は大変お世話になりました

さて 私もよる年波には勝てず

毎年の年賀状をしたためることも難しくなっておりまして

本年をもちまして 年始のご挨拶状をご遠慮させていただこうと考えております

向寒のみぎり くれぐれもご自愛なさいませうお祈り申し上げます

平成二十九年 元旦

出典 (<http://nenga.templatebank.com/bunrei/nenga15/>)

